



JPN 329
BİLİŐSEL DİL BİLİM
AÇISINDAN JAPONCA

9. HAFTA

METAFOR

(メタファー」

「隠喩/ メタファー」

- アリストテレス以来の伝統的な定義では、隠喩（メタファー）とは、2つの事物、概念の間に類似性が成り立つとき、一方の形式で他方を表現することを言う。

（辻、2009：16）

- 「メタファーとは、2つの事物・概念の何らかの「類似性」に基づいて、本来は一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喻です。」

（靱山、2010：35）

METAFOR

- İki nesne ya da kavramın benzerliğine bađlı olarak, bir nesne ya da kavramı belirten Őekil kullanılarak diđer nesne ya da kavramın ifade edilmesidir.

(Momiya, 2010:35; Tsuji, 2009:16)

KAVRAMSAL METAFOR

HEDEF ALAN	KAYNAK ALAN
AŞK (LOVE)	YOLCULUK (JOURNEYS)

Yolculukla ilgili dilsel ifade;

Yol ayırımındayız.

(We are at a crossroads.)

(Evans&Green, 2006:295)

METAFOR ÖRNEKLERİ

Japonca Örnekler	Türkçe Örnekler
巢立つ	Hanımgöbeği
トンボ	Kadınbudu
目玉焼き	Dilberdudağı
猫背	Vezirparmağı
鳩胸	Kuşburnu
鳥肌	Bülbülyuvası

機械に関する言葉が人間についての何らかのことを表すようになったメタファー

1. やらなければとは思っているのだが、なかなかエンジンがかからない。
2. しばらく充電してから、また研究に励むつもりだ。
3. 少しオーバーホールしないと体が持たない。
4. 私は会社の歯者の1つにすぎない。
5. あいつは上司のロボットだ。

(Momiya, 2010:36)

具体的な動詞の意味にメタファーに基づくもの

1. このびっくり箱は、ふたを開けるとボールが飛び出す仕組みになっている。
2. 子どもが道路に飛び出した。
3. 昨日の会議で、思いもよらぬ意見が飛び出した。

(Momiya, 2010:36-37)

KAYNAKÇA

- Evans, Vyvyan, Green, Melaine, (2006), **Cognitive Linguistics: An Introduction**, Routledge.
- Momiyama, Yōsuke, (2010), **Ninchi Gengogaku Nyūmon**, Kenkyūsha.
- Tsuji, Yukio, (2006), **Ninchi Gengogaku Kīwādo Jiten**, Kenkyūsha, (3.Baskı)